

四月十五日までに三千名獲得カンパの遂行中である。

教育闘争としては農民学校を開き貧農青年の教育に従事し、現在本校五、分校三十を有して居る。

岡山縣聯合會の報告を滝川澄雄氏が次の如く報告した。

岡山は昨年十二月に確立したばかりでこれと云ふ報告はない。然現在常任の江田三郎及び會計の三輪の両氏が吉村争議で刑務所に入つて居るが、両氏の留守中にも拘はらず、本組織に對して勇敢に働きかけて居る。云々

地方情報報告は以上を以つて終り、直に議事に入つた。

一、全國大會に關する件 師岡將雄

全國大會に關する青年部の態度に就ては色々問題があるが、我新瀉縣聯合會では全農は經濟組織の組合であるとの原則によつて政治的意見を組合外に持込まないことに決定したのである。

大會を混乱せしむるが如き議案を提出せざるのみならず、積極的に之を防衛すると云ふ態度を以て望んでい。この趣旨に於て青年部から大會に挨拶を述べること、本部に上申するか否かを決定して貰いたい。なほ多少政治的に不満を抱いて居る者をも押へ總本部派の立場から極力應援する様にした方がいいのである。

に水に對する質問として、

和歌山由村趣旨には賛成するものであるが、政治的には各自違つた意見を大會に述べるよりも、青年部として間違のない方針を決定して上申して下す方がいい。

師岡氏並に議長「全國的統一の立場からも全農の大衆化と云ふことから、青年部としては親組合の闘争力を弱め、分裂を来たすが如き意見を避けて進みたい」。